

平成24年度 年末・年始労働災害防止強化運動実施要綱



厚生労働省

長崎労働局・各労働基準監督署

1 趣 旨

長崎県内における休業4日以上労働災害は、長期的に減少傾向で推移しているものの、昨年の県内における労働災害（休業4日以上死傷災害）は、1,406件と、前年に比べ16人増となっている。

また、労働災害による死亡者数は、一昨年より1人増の18人となり、ここ数年高止まりの状況にある。

平成24年においては、10月末日現在1,066人と昨年同時期と比べ14人増加し、特に建設業において18人増と最も多く、次いで保健衛生業（15人増）、農業（11人増）となっている。死亡災害にあつては、本年11月末日現在10人となっており、昨年同時期と比べ6人減少しているものの、製造業で3人、建設業では4人の死亡災害が発生している。

労働災害が増加に転じた背景には、様々な要因が考えられるが、着実に減少していた建設業や製造業が増加に転じた背景として、厳しい経営環境の中でコスト競争激化により人員削減を余儀なくされた結果、ベテラン労働者（職長等）が不足するなど、安全衛生管理体制が劣化していることが想定される。

また、陸上貨物運送事業や第三次産業にあつては、労働災害全体が減少する中でも横ばい傾向を続けている。特に、第三次産業にあつては、サービス経済化が進展する一方で、十分な安全衛生管理体制や効果的な安全衛生教育が実施されていないことが背景としてあげられる。

いずれにしても、いかなる経済情勢下にあつても労働災害は本来あつてはならないものであり、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないよう全力で取り組む必要がある。

これから年末・年始を迎えるにあたり、冬期における気候や作業条件の悪化に加え、大掃除や機械設備の保守点検・始動など非定常作業も多くなることから、例年、労働災害が多発する傾向にあり、また、生活のリズムも変わりやすく健康管理面も疎かになりがちな時期でもある。

労働災害を防止するためには、安全衛生担当者による作業現場の確認、機械設備の安全基準や作業手順の遵守といった、「安全第一」の原点に立ち返った基本的な安全対策を改めて徹底することが大切である。

年末においては、経営トップが「安全第一」を基本とした安全衛生方針の決意表明を行い、労働者全員参加による職場の安全衛生活動を実施し、新年を「労働災害のない快適な職場環境を目指す」という新たな決意で迎えることが肝要である。

以上を踏まえ、長崎労働局では、県内すべての労働者が健康で労働災害のない明るい年末・年始を迎えられるよう「平成24年度 年末・年始労働災害防止強化運動」を展開し、年末・年始における労働災害防止活動の積極的な推進を図ることとする。

2 実施期間

平成24年12月1日から同25年1月31日まで

3 目 標

年末・年始労働災害防止強化運動期間中における死亡災害の根絶及び労働災害の減少
(前年同期となる平成23年12月から同24年1月における労働災害件数に対して5%減)

4 主 唱 者

長崎労働局・各労働基準監督署

5 実 施 者

各事業者

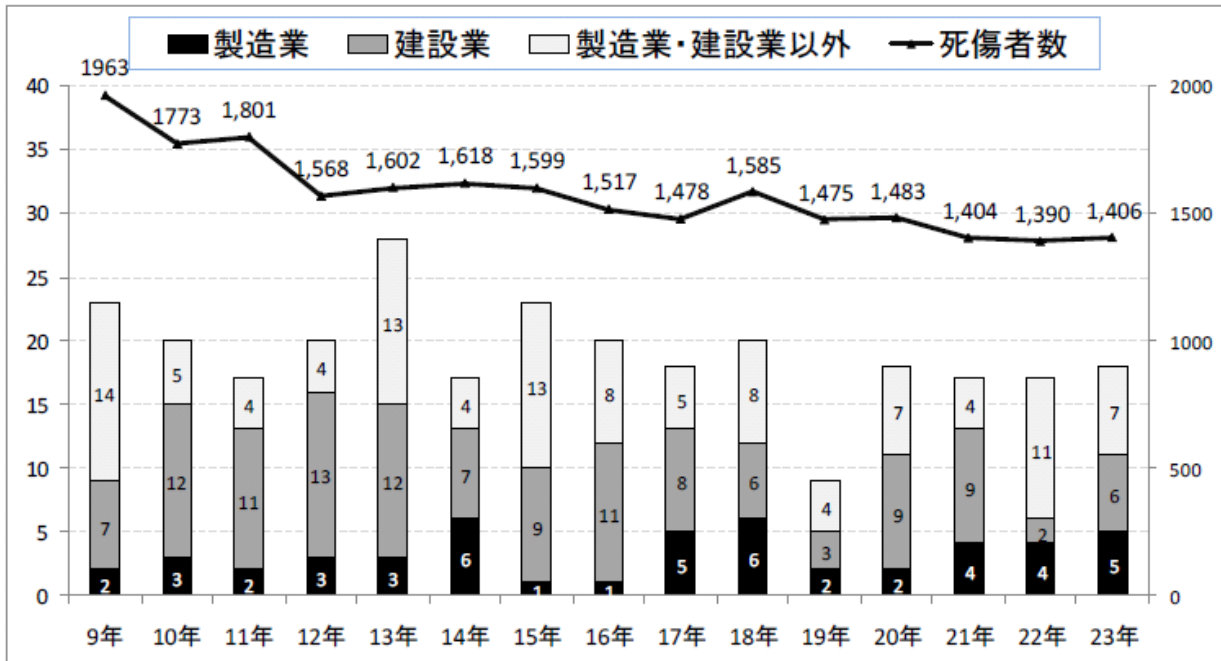
6 主唱者が実施する事項

- (1) 安全資料等の作成、配布
- (2) 報道機関、当局ホームページ等を通じた広報の実施
- (3) 年末建設業一斉監督、各種安全パトロールの実施
- (4) 事業者が行う事項に係る指導援助の実施

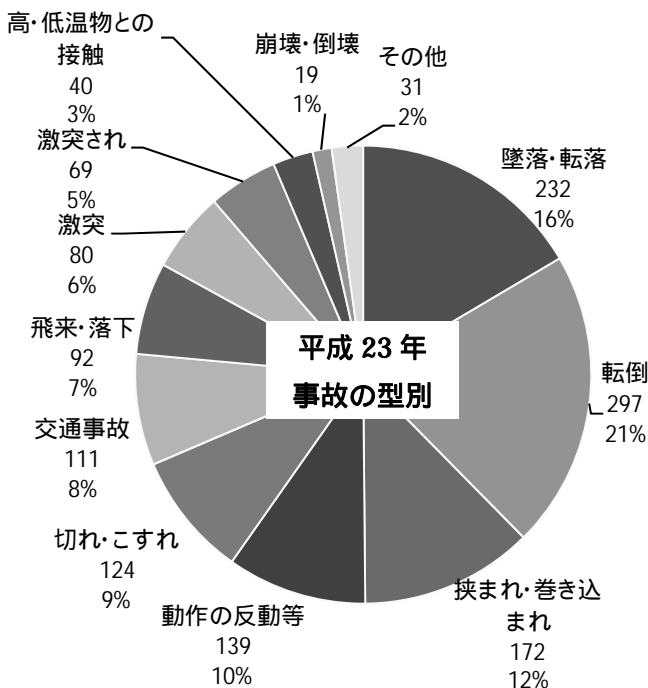
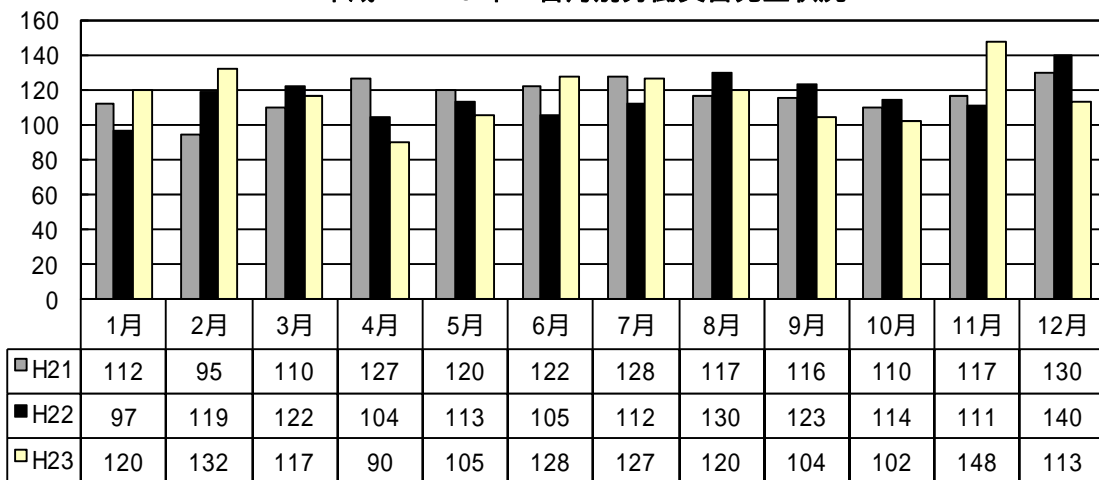
7 実施者が実施する事項

- (1) 経営首脳による安全衛生方針の決意表明及び安全衛生パトロールの実施
- (2) リスクアセスメントの推進など自主的安全衛生管理活動の実施
- (3) 安全管理者、衛生管理者、産業医、安全衛生推進者、衛生推進者、作業主任者の選任と職務の確実な遂行
- (4) 本年(度)の安全衛生管理活動の評価及び新年(度)の安全衛生管理年間計画の作成
- (5) 安全朝礼、準備体操、作業開始前のツールボックスミーティング、危険予知活動の励行及び安全な作業方法の周知
- (6) 凍結・積雪による屋外での転倒災害防止対策の実施
(例：凍結時に有効な靴、敷きマットの使用等による転倒防止)
- (7) 4S運動(整理、整頓、清掃、清潔)運動の実施
- (8) 各級管理者、作業指揮者、作業者に対する安全衛生教育・危険認識教育の実施
- (9) 作業手順書(定常・非定常)の作成又は見直し及び全ての関係労働者への周知
- (10) 「交通労働災害防止のためのガイドライン」に基づく交通労働災害防止対策の実施
- (11) 機械設備の作業前点検及び定期自主検査の実施
- (12) 「機械の包括的な安全基準に関する指針」に基づくリスクアセスメントの実施
- (13) 高年齢労働者の特性に応じた労働災害防止対策の実施
- (14) 火気を取り扱う職場における火気の点検、確認等火気管理の徹底
- (15) 化学物質(塗料・薬品等)の適正な管理の徹底
- (16) 健康診断結果に基づく適切な事後措置の実施
- (17) 健康的な生活習慣(食事、運動、飲酒、喫煙及び睡眠)に関する健康指導の実施
- (18) インフルエンザ等感染予防対策の徹底
- (19) 長時間の時間外労働に従事する労働者に対する健康確保対策の実施
- (20) 「年末年始無災害運動」ポスターの掲示、安全衛生旗及びのぼりの掲揚

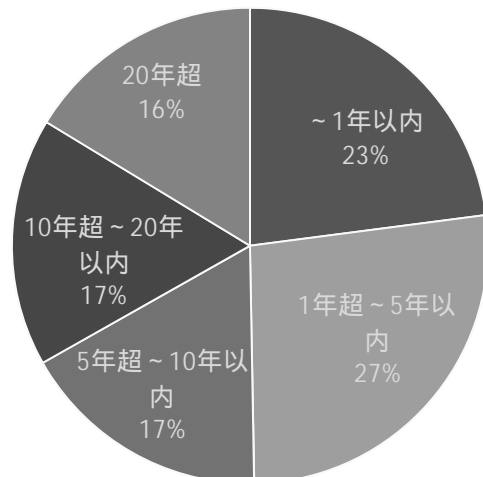
長崎県内における平成9年以降の死傷災害発生件数と死亡者数の推移



平成21～23年 各月別労働災害発生状況

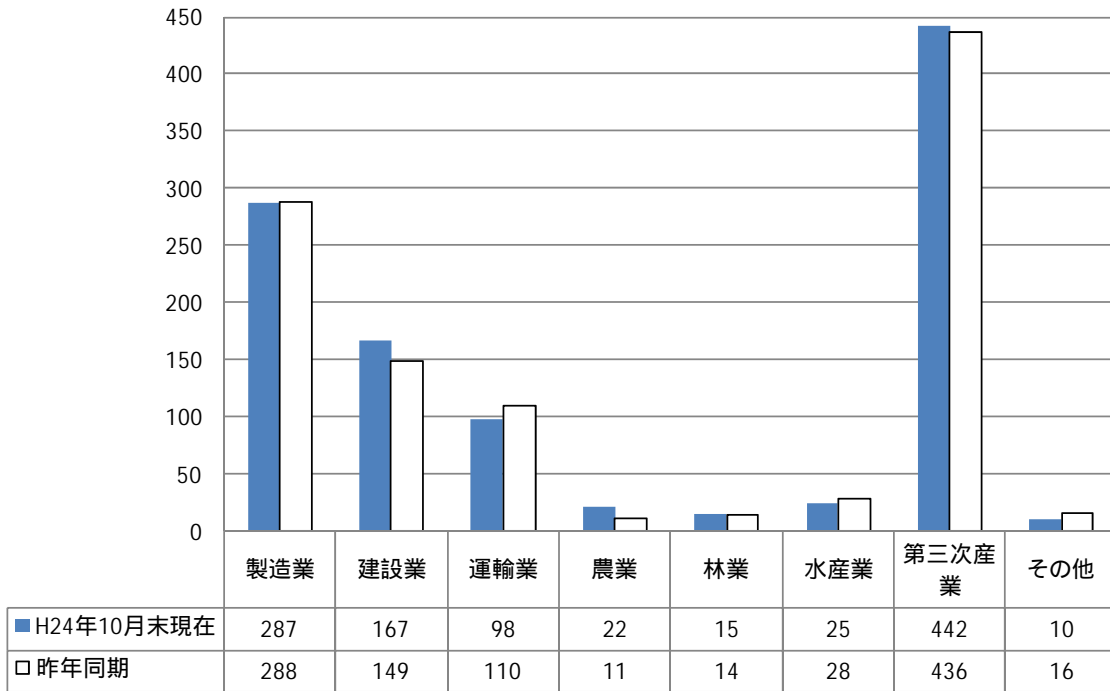


平成23年経験年数別

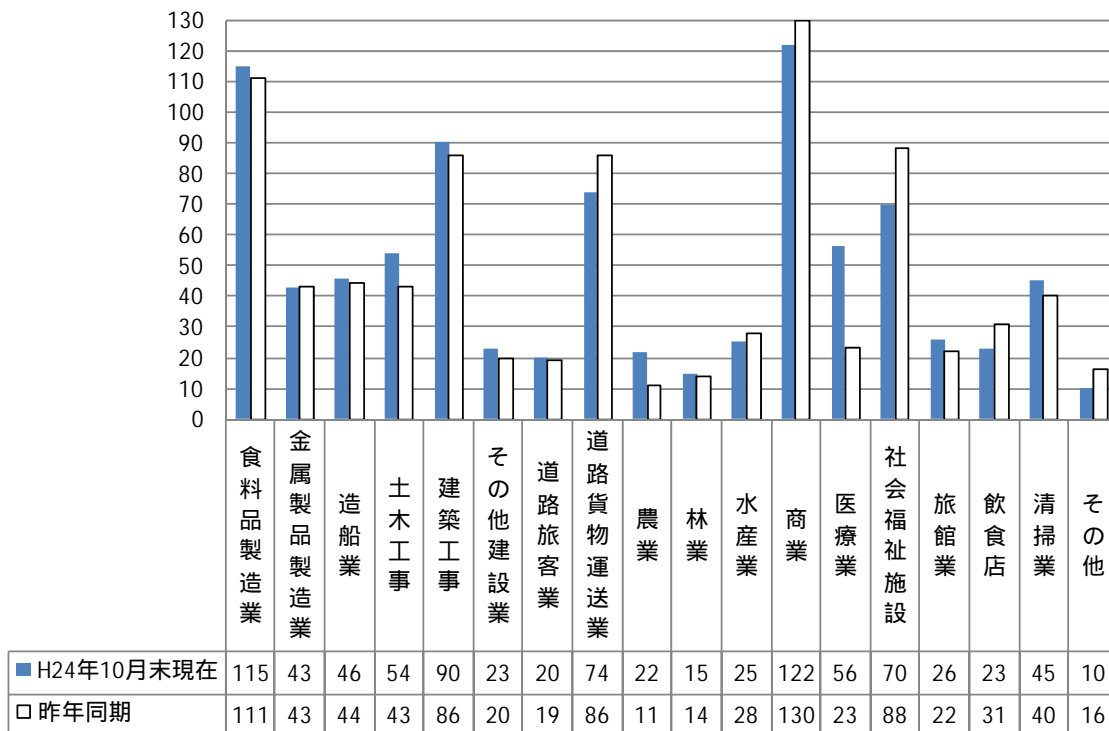


長崎県内における死傷災害発生状況（平成24年10月末現在）

平成24年10月末現在 業種別(大分類)災害件数



平成24年10月末現在 業種別(中分類)災害件数



長崎県内における死亡災害の概要（平成 24 年 11 月末現在）

番号	発 生 年 月	被 災 者 種 等 職 年 齢	発 生 状 況 の 概 要	業 起 事 故 の 種 物 型	所 轄 署							
1	24.1	男 作業員 42 歳	工場内において、冷却槽に掛け渡した 2 本の H 鋼上に仮置きしていた表面処理加工作業に使用する鋼製架台を、天井クレーンを使用して移動させようとしたところ、H 鋼 1 本が冷却槽内へずれ落ちたため、被災者は鋼製架台と共に冷却槽内へ転落したものの。	製造業 建築物・構築物 墜落・転落	諫 早							
2	24.3	男 作業員 60 歳	汚水管の布設のため、ドラグ・ショベルにて高さ約 2メートル前後の明かり掘削を行った後、被災者が掘削箇所に入り、湧水してくる海水をポンプで吸い上げるため 10センチ程の穴をスコップで掘っていたところ、背にしていた地山の法面が崩れ、土砂に埋まったもの。	建設業 地山 崩壊・倒壊	長 崎							
3	24.3	男 運転者 55 歳	被災者は、ドラグ・ショベルを運転し、バケットのフックにワイヤロープを掛けて生コンを乗せた木製パレット（98cm×180cm）を吊り上げていた時、同機械が転倒し、被災者はその下敷きとなったもの。	建設業 掘削用機械 転倒	島 原							
4	24.5	男 運転者 50 歳	被災者は他県でトラック（4t）にパイプ類を積み込み、届け先の業者（長崎県内）へ向かっていたところ、赤信号で停車中のトラックに被災者が運転するトラックが追突したものの。	運輸交通業 トラック 交通事故	佐 世 保							
5	24.5	男 作業員 58 歳	ゴミ収集作業員の男性がスーパーマーケット駐車場で作業中のゴミ収集車の回転板に巻き込まれ、搬送先の病院で亡くなったもの。	産業廃棄物処理業 トラック 挟まれ・巻き込まれ	長 崎							
6	24.7	男 作業員 54 歳	カーテン取付け作業のため訪問した客先の駐車場で運転操作を誤り 5m 下の畑に転落し、翌日に亡くなったもの。	建設業 乗用車 墜落・転落	長 崎							
7	24.8	男 作業員 46 歳	し尿収集作業において、バキューム車の後部ステップに労働者を立ち乗りさせバック走行で移動していたところ、ステップに乗っていた労働者が転落し、バック走行中の当該バキューム車に轢かれ死亡したものの。	産業廃棄物処理業 トラック 挟まれ・巻き込まれ	長 崎							
8	24.10	男 作業員 44 歳	建造船バラスタンク内の架設照明器具撤去作業中、最上階の梯子（角度 75 度）を昇る際に転落し、下部プラットフォームを乗り越え、同プラットフォームから約 5.8m 下へ墜落したものの。	製造業 建築物・構築物 墜落・転落	長 崎							
9	24.10	男 左官工 70 歳	民家の塀の改修工事において、塀を解体するため、塀の下部を電動ピックハンマーで横方向へ直線状に研っていたところ、塀が幅 262cm×高さ 105cm（厚さ 19.5cm、重さ 0.7t）にわたって倒れ、研り作業を行っていた作業者が倒れた塀の下敷きとなり死亡した。	建設業 建築物・構築物 崩壊・倒壊	長 崎							
10	24.11	男 塗装工 55 歳	建造中の船倉内において、塗装後の換気のためフレキシブルダクトを設置していた労働者が、船倉中段の作業床の端から 8.5m 下に墜落し、死亡したものの。	製造業 建築物・構築物 墜落・転落	長 崎							
	合 計		管 轄 署 別	業 種 別								
			長 崎 佐 世 保 江 迎 島 原 諫 早 対 馬	製 造 建 設 運 輸 農 林 商 業 其 他 交 通 交 通 水 産 業 業 業								
24 年 11 月 末	10	7	1	1	1	3	4	1			2	
昨 年 同 期	16	7	4	1	1	2	1	5	5	1	1	4